

## 2 植物の分類

中1 中2 中3

## イントロダクション

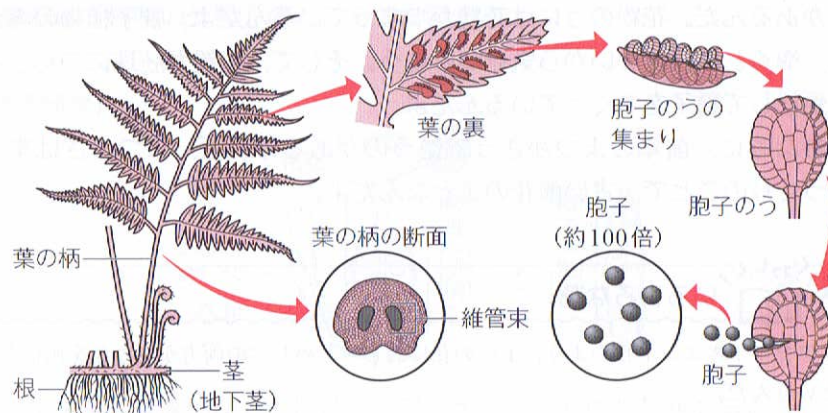
- ◆ 種子をつくらない植物 → シダ植物とコケ植物の2種類あるよ。
- ◆ 植物の分類 → 特徴をおさえながら覚えよう。代表的な植物の名称も覚えておこう！

## 種子をつくらない植物

種子をつくらない植物は**孢子**をつくってなかまをふやすんだ。

種子をつくらない植物には、**シダ植物**と**コケ植物**があるんだよ。種子はつくらないけれど、種子植物と同じように、**葉緑体**で光合成をしていて、自ら栄養分をつくり出しているんだ。

## 【シダ植物】



上の図は、シダ植物の代表としてよく出てくるイヌワラビだよ。このイヌワラビでシダ植物の特徴をおさえていこう。

シダ植物は、日かげの湿っているところに生息していることが多いんだ。維管束があり、根・茎・葉の**区別**があるのが特徴だよ。そして、**根**で水分を吸収しているんだ。茎は地下茎といって地中にあるんだ。実は、葉や茎のように見えている部分全体が葉なんだよ。

葉の裏側には、たくさんの**孢子的う**があって孢子をつくっているよ。この孢子が発芽することでなかまをふやしているんだよ。

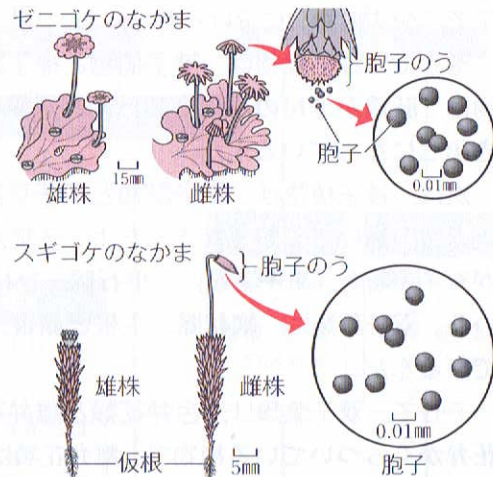
シダ植物には、**イヌワラビ**、**ゼンマイ**、**スギナ**などがあるよ。スギナはつくしとしても有名な植物だよ。

## 【コケ植物】

次は、コケ植物について見ていこう。コケ植物は、**維管束**がなく、**根・茎・葉**の**区別**がないんだよ。からだの**表面全体**から水分を吸収しているんだ。

根のように見えているのは**仮根**というつくりで、**水**を吸収するはたらきはなく、からだを地面に固定するためにあるんだ。

**雌株**と**雄株**があって、**雌株**には**孢子的う**があるんだよ。上の図を見て、どちらが雌株でどちらが雄株なのかを見分けられるようにしておこう。代表的なものに、**ゼニゴケ**や**スギゴケ**があるよ。



## 植物の分類

植物は、その特徴で分類されているんだ。

何の違いによって分類されているのかに注目して見ていこう。

まずは、なかまのふやし方の違いで、種子でふやす「**種子植物**」と「胞子でふやす植物」に分けられる。

そして、種子植物は、**被子植物**と**裸子植物**に分けられるんだ。被子植物は、**胚珠が子房の中にあるけれど**、裸子植物は**子房がなく、胚珠がむき出し**になっているんだ。

次に、被子植物は、**単子葉類**と**双子葉類**に分けられる。これらは、子葉の数の違いで分類されるんだよ。子葉が1枚なのが単子葉類、2枚なのが双子葉類だ。単子葉類は、**平行脈**、**ひげ根**、**茎の維管束が散らばっている**。双子葉類は、**網状脈**、**主根と側根**、**茎の維管束が輪のように並んでいる**んだ。

そして、双子葉類は、**合弁花類**と**離弁花類**に分けられる。合弁花類は**花弁がくっついている**植物で、離弁花類は**花弁が離れている**植物だよ。

次のページにまとめた図を載せておいたから頭に入れておこう。

**少し** **ソウ類**

ワカメやコンブなどの海藻、ミカヅキモなどは**ソウ類**と呼ばれている。

ソウ類には、葉緑体があるので光合成をしているんだけど、植物とは異なるグループに分類されているよ。

以前は、植物のなかまとして分類されていたから、参考書によっては、まだソウ類を植物のなかまとして紹介しているものがあるから気をつけよう。

## 【植物の分類 まとめ】

